

日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)

蒲江・北浦大漁海道 だより

Since 2010.2

URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>

みなさん、シーニック・バイウェイという言葉を知っていますか？ シーニック・バイウェイとは、アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる135のルートがあります。九州には13のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。=60号です。日豊海岸の魅力を探しに是非お越し下さい。=

今月のシーニック・バイウェイ



背平山(392m)からの展望

通行止めになっていた背平山に登れるようになりました。国道388号から林道背平線に入り、道はあまり良くありませんが約10分ほどで駐車場に到着します。駐車場から歩いて3分ほどで展望スペースにでます。そこからの風景は複雑なリアス式海岸を一望できます。ベンチや、テーブルなど設置されていて、ゆっくりと時間が過ごせます。

撮影場所:背平山(蒲江ICから車で20分)

地域資源（宝）の紹介コーナー

このコーナーでは、日豊海岸シーニック・バイウェイエリアの旬の地域資源（宝）等を紹介します



地域で活動する人



◆尾中 尚登(オナカヒサト)さん

～大分県マリンカルチャーセンター新任館長～

大分県マリンカルチャーセンターでは、県民のレクリエーション、社会教育活動で年間通じて利用されていますが、夏以降の活用が少なくなり課題となっています。その中で韓国からの研修で利用してもらうなど国外にも目を向けています。

今後も、道の駅かまえ・かまえインターパーク・里の駅たかひら展望公園と行っている「^{ケイフォー}K4会議」を通じ連携しながら地域の活性化を目指していくと仰っていました。

～館長さん、よろしくお願ひします。～



尾中尚登さん



歴史・文化資源



◆天満社(佐伯市蒲江) 蒲江波当津ICから車で15分

蒲江には天満社が数カ所あります。今回紹介する天満社は葛原浦にある天満社です。3つのクスがある社です。

創祀は寛文元年といわれています。この集落は、地勢上「地下」と「檜郷」に分かれているため、それぞれ菅原神を祭って氏神としていました。現在の天満社は、地下地区の氏神として祭っていた菅原神(本宮)と檜郷地区の氏神菅原神(若宮)を明治九年合祀して一社としたものです。(蒲江町史より)



天満社(葛原浦字カシゴウ)

◆尾高智(おたち)神社(延岡市北浦町) 北浦ICから車で25分

尾高智神社は大分県佐伯市の^{とがむれじょう}梶牟礼城主、^{さいきこれはる}佐伯惟治を祭る神社で、佐伯を追われた惟治公が尾高智山中腹で自害したとされ、その^{おとう}胴体を葬ったと伝えられる墓があります。また、延岡市北川町の「御頭神社」には惟治公の^{しゅきゅう}首級を葬ったと伝えられる墓があります。惟治公を祭る神社は延岡市、佐伯市を合わせて30社余りあり、古くから両市の繋がりが伺えます。

佐伯惟治(1494～1527)の墓→



↑町指定文化財の「尾高智神社」



食



◆イワガキ(佐伯市蒲江)

イワガキは、6～8月にかけて旬を迎えます。別名「海のミルク」と言われるほど、濃厚でクリーミーな味です。イワガキは夏が旬で、冬が旬のマガキよりもサイズが大きく肉厚です。

イワガキを炭火焼きにすると乳白色の艶やかなカキの身が磯の風味を豊かに漂わせ、カボスやレモン果汁などを合わせていただくのが最高です。



炭火焼きされるイワガキ



食



◆期間限定！！(8/31まで)「きたうら海幸御膳」 提供中(延岡市北浦町)

ただいま『北浦町”食”の研究会』では、5月1日～8月31日の期間限定で、宮崎県水産ブランド「ひむか本サバ」の刺身、焼物、汁物などを中心に提供店舗(記5店)のアレンジを加えた、きたうらの海幸が堪能できる贅沢御膳『きたうら海幸御膳』(→チラシ参照)をご提供中です！

また、この御膳は、延岡市公募型消費喚起事業として延岡市外の方なら簡単なアンケートに答えるだけで食事代が3割引きになる特典があります！ぜひこの機会に「ひむか本サバ」をご賞味下さい！

延岡市外の方限定！食事代3割引き！！ 延岡市公募型消費喚起事業

期間限定！！(5/1～8/31)

「きたうら海幸御膳」

宮崎県水産ブランド「ひむか本サバ」使用

【メニュー(内訳)】
ひむか本サバの刺身(刺身御膳) 1品
ひむか本サバの焼物(焼物御膳) 1品
汁物(汁物御膳) 1品
デザート(デザート御膳) 1品
計 4品(全品税込)

※完全予約制
(祝日を除く)

◎延岡市外の方は食事費、アンケートに答えるだけで3割引き！！

(通常価格) 3,000円 (税込) → 2,100円 (税込)

◆きたうら海幸御膳 提供飲食店◆

飲食店名	住所	TEL	営業時間	備考
島平屋	延岡市北浦町	0982-46-3191	11:00～21:00	※予約必須
さざれ石 高島	延岡市北浦町	0982-46-2298	11:00～21:00	※予約必須
さとう	延岡市北浦町	0982-46-2077	11:00～21:00	※予約必須
臨港	延岡市北浦町	0982-46-2071	11:00～21:00	※予約必須
丸金	延岡市北浦町	0982-46-2080	11:00～21:00	※予約必須



自然・景観資源

◆天満社のクス(佐伯市蒲江) 蒲江波当津ICより車で15分

葛原浦の天満社の境内に、樹齢500年から600年と思われるクスの巨木があります。胸高周囲3.9mほどあります。クスノキは、クスノキ科の常緑高木で、日本の温暖地、台湾、中国などに分布します。直径2m以上の大木も多く知られ、樹皮には細かい割れ目があります。葉は互生し卵状楕円形で、5～6月頃、黄白色六弁の小花が咲きます。天満社のクスは町指定天然記念物に登録されています。(現地説明看板より)



天満社のクス

◆観音滝(北浦町三川内土々呂) 北浦ICより車で15分

東九州道北浦インターを出て、国道388号を蒲江方面に北上し、古江トンネルを抜け約2km進み右折し小道に入って行ったところに観音滝があります。落差8mと7mの2本の滝が競いあうように流れ落ちる観音滝、四季折々に姿を変化させます。滝壺まで遊歩道(約1km)が整備されており、近くまで歩いて行くことができます。



涼しそうな観音滝



活動報告 ◆”おばちゃんバイキング”で大分県庁の方々をおもてなし！

5月30・31日に「安心・活力・発展」の大分県づくりをさらに推進し、県の将来ビジョンを集中的に議論するための臨時部長会議合宿が大分県マリンカルチャーセンターで行われました。

31日のお昼には「NPO法人かまえブルーツーリズム研究会」が”おばちゃんバイキング”で皆さんをおもてなししました。

広瀬知事外皆さん新鮮なお魚をはじめ、”海鳴りずし(すりみいなり)”や”くじゃく”など蒲江の珍しい郷土料理をたいへん喜ばれたそうです。



↑テーブルにずらりと並べられた郷土料理
←トレイいっぱいにとられた美味しそうな料理

お知らせ ◆佐伯市城下町観光交流館がオープン！

5月30日に「佐伯市城下町観光交流館」がオープンしました。佐伯藩2万石城下町の武家屋敷通りの面影が残る「歴史と文学のみち」の一角にあるこの施設は、昭和11年建築とされ旅館にも活用された建物を保存するとともに、観光客や市民の皆さんがお気軽に休憩でき、そして観光情報を発信する場所として佐伯市が整備しました。

「日豊海岸シーニック・バイウェイ」の情報発信もよろしくお願ひします。m(_ _)m

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.yappa-saiki.sakura.ne.jp/saiki-kankoukoryukan/kouryukan/>



開館記念の様子

東九州道建設情報



GWにおける東九州道の状況について

大分から宮崎まで3月につながった東九州道の観光面のストック効果がまとめられ発表されました。(ストック効果:整備された社会資本が機能することによって継続的に中長期的に得られる効果)

【観光に着目したストック効果】

- 東九州道沿線の観光客が増加
- 観光圏域が広域化
- 高速道路とフェリーの連携により新たな観光ルートの開拓
- 観光客の増加・観光圏域の拡がりによる波及効果

【開通区間の交通量】(H27.5.3~H27.5.6の平均値)

- 佐伯IC~佐伯堅田IC間 日平均 17,900台
- 佐伯堅田IC~蒲江IC間 日平均 19,200台

詳しくは九州地方整備局HPをご覧ください。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kisyahappyou/h27/150601/index1.pdf>

【観光に着目したストック効果】	
● 東九州道沿線の観光客が増加	・観光施設等の入り込み客数が約1割増加。
● 観光圏域が広域化	・大分県の「ふかまご」の県外からの観光客の割合が76%から85%に上昇。 ・宮崎県の「高千穂峠」の九州外からの観光客の割合が8%から22%に上昇。
● 高速道路とフェリーの連携により新たな観光ルートの開拓	・豊後⇄大分間のフェリーの乗用車利用台数が約2割増加。 ・GW期間中に豊後⇄九州間で2つの観光ツアーが新たに企画。今後も続々と新規ツアーが企画。
● 観光客の増加・観光圏域の拡がりによる波及効果	・沿線の道の駅において、一人あたりの観光消費額が1割増加。
【開通区間の交通量】	
■ GW期間中の平均交通量	(単位:台/日)
中津IC~宇佐IC	13,800
佐伯IC~佐伯堅田IC	17,900
佐伯堅田IC~蒲江IC	19,200

※今後、継続的な調査を行い、開通後の交通量や観光効果など、引き続きお知らせする予定です。

記者発表資料より

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆ URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。



日本風景街道

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0848 大分県佐伯市城下東町8-19 (佐伯市観光協会内)
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489